

EarthFinder Version3.8  
オリジナルレポート説明書

2012/02/12 国際航業株式会社

## はじめに

本資料では弊社デスクトップ GIS の **EarthFinder Version3.8** で新たに追加された「オリジナルレポート」作成機能について説明します。

第1章の「概要」では、オリジナルレポートの考え方と、できることを記述しています。

第2章の「オリジナルレポートを出力してみる」では、サンプルのオリジナルレポート定義ファイルを使って、実際に **EarthFinder** 上でレポートを出力する操作を説明しています。

第3章でオリジナルレポート定義ファイルのフォーマット仕様を記述していますので、サンプルの定義ファイルと照らし合わせながらご覧下さい。

**MarketFinder**、オリコミタウンハイブリッド版は **EarthFinder** をベースとした ASP 版アプリケーションとなりますので、今回追加された機能を使用することができます。(ただし、オプション機能となりますので、ご利用には別途オプション契約をしていただく必要があります。)

資料中ではアプリケーションの名称を「**EarthFinder**」と表記しますが、ASP 版ユーザの方は適宜「**MarketFinder**」とお読み替え下さい。

## 目次

1. 概要 .....	4
1.1. ファイルの構成 .....	4
1.2. オリジナルレポートの構成要素 .....	5
1.2.1. 統計指標 (集計) .....	5
1.2.2. プロット .....	5
1.2.3. 地図 .....	7
2. オリジナルレポートを出力してみる .....	8
2.1. 準備 .....	8
2.2. オリジナルレポート出力 .....	8
2.3. レポート一括作成 .....	9
3. フォーマット仕様 .....	11
3.1. 記述フォーマットおよびファイル名について .....	11
3.2. セクション構成 .....	11
3.3. 【Reportdef セクション】 .....	12
3.4. 【Stats】セクション .....	13
3.5. 【GraphDispAttr】セクション .....	16
3.6. 【PlotGroup】セクション .....	17
3.7. 【Sheet】セクション .....	18
3.7.1. Name パラメータ .....	19
3.7.2. 調査地点に関するパラメータ .....	19
3.7.3. Cell パラメータ 集計値の転記位置指定 .....	20
3.7.4. Map パラメータ 地図情報の定義 .....	21
3.7.5. StatList パラメータ 統計データ集計表の定義 .....	23
3.7.6. PlotList パラメータ プロット一覧表の定義 .....	24

## 1. 概要

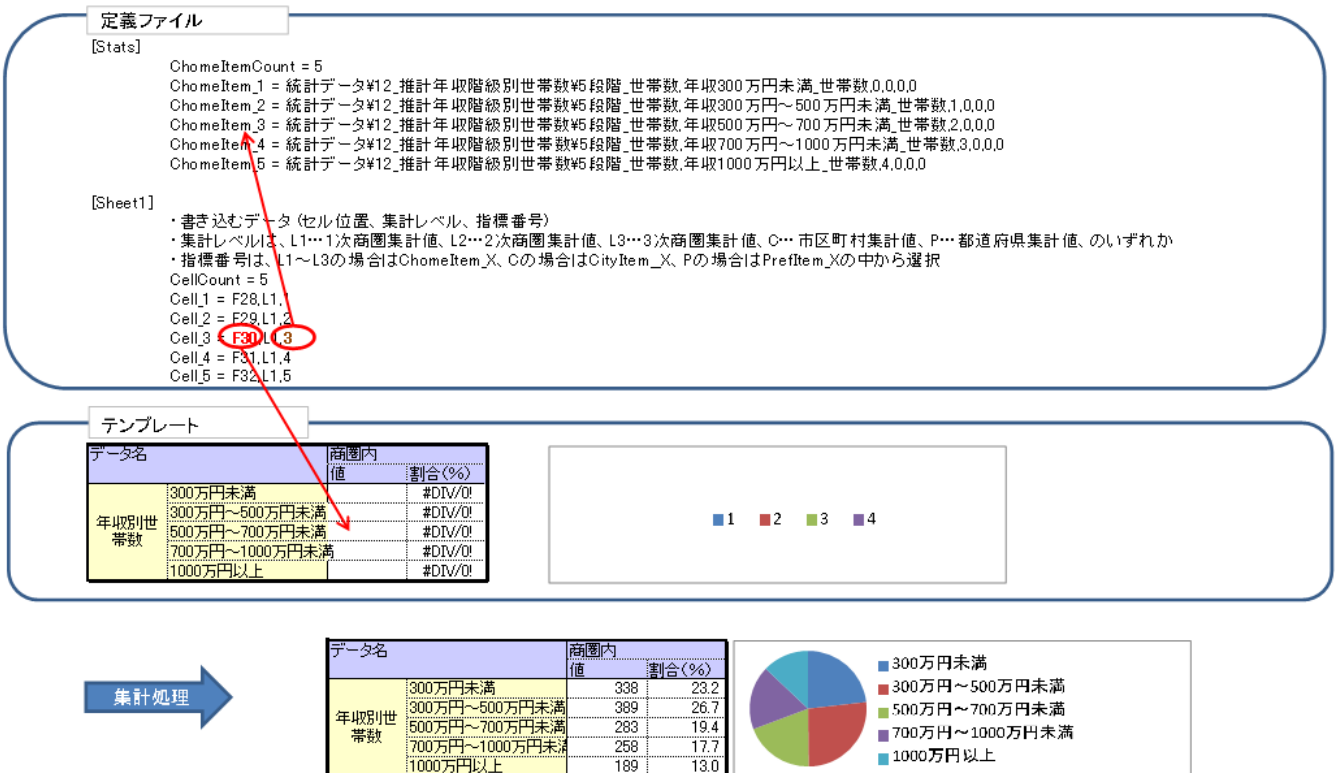
EarthFinderder は、地図上で調査地点をクリックするだけで、国勢調査、事業所統計、商業統計の指標を使った定型の Excel レポート(マーケットレポート)を作成機能をもっています。

このマーケットレポートに搭載している指標は、すべてのユーザー様でお使いいただけるよう、国勢調査、商業統計、事業所統計などから代表的な指標を網羅的に集めたものです。

Version3.8 では、あらかじめプリセットされたこの標準レポート以外に、お使いの方が自分で Excel のテンプレートを用意し、集計する指標を定義することで、オリジナルのレポートを作成することができるようになりました。これにより標準のマーケティングレポートと同等の表現力をもったオリジナルレポートが作成できます。

### 1.1. ファイルの構成

オリジナルレポートを作成するための定義ファイルは、集計する指標などを記述した定義ファイルと、集計した指標を貼りつける Excel テンプレートファイルからなります。



グラフを出したい場合は、Excelテンプレートにセルと対応づけさせたグラフをあらかじめ作成しておきます。

EarthFinder で集計処理が行われ、セルに集計値がセットされると、対応したグラフが埋め込まれた Excel レポートが作成される仕組みです。

「定義ファイル」と「Excel テンプレートファイル」の組を作成し、フォルダに格納しておくことで、EarthFinder 上からオリジナルレポートを選択し、出力することが可能となります。

## 1.2. オリジナルレポートの構成要素

レポート定義ファイルには以下の構成要素(統計指標、プロット、地図)が記述できます。

### 1.2.1. 統計指標 (集計)

#### ① 商圏内集計用指標

商圏エリア内の集計値を求めるための統計指標です。町丁目レベルの統計指標、もしくはメッシュ統計指標を指定できます。

#### ② 調査地点位置の市区町村、都道府県の集計値用指標

調査地点位置の市区町村の統計値、都道府県の統計値を取得する指標です。

	世帯数				
	① 1次商圏	2次商圏	3次商圏	② 千代田区	東京都
総世帯数	1,047	2,937	11,554	20,518	5,747,460
単身世帯	417	1,213	5,441	10,014	2,444,145
2人以上世帯	630	1,724	6,113	10,504	3,303,315
核家族世帯	581	1,574	5,537	9,268	2,928,181
親族世帯	624	1,704	6,022	10,377	3,247,735

#### ③ 商圏にかかる／地図表示範囲集計用指標

商圏内集計ではなく、商圏エリアにかかる範囲や地図表示範囲を集計する場合に指定します。

【商圏にかかる町丁目】



【地図表示範囲町丁目】



住所名	人口	昼間人口	世帯数	人口密度(/K㎡)
東京都千代田区一番町	2,827	14,559	1,233	13,657
東京都千代田区紀尾井町	358	15,914	253	1,297
東京都千代田区北の丸公園	679	11,323	318	1,648
東京都千代田区九段北3丁目	51	12,868	28	490

### 1.2.2. プロット

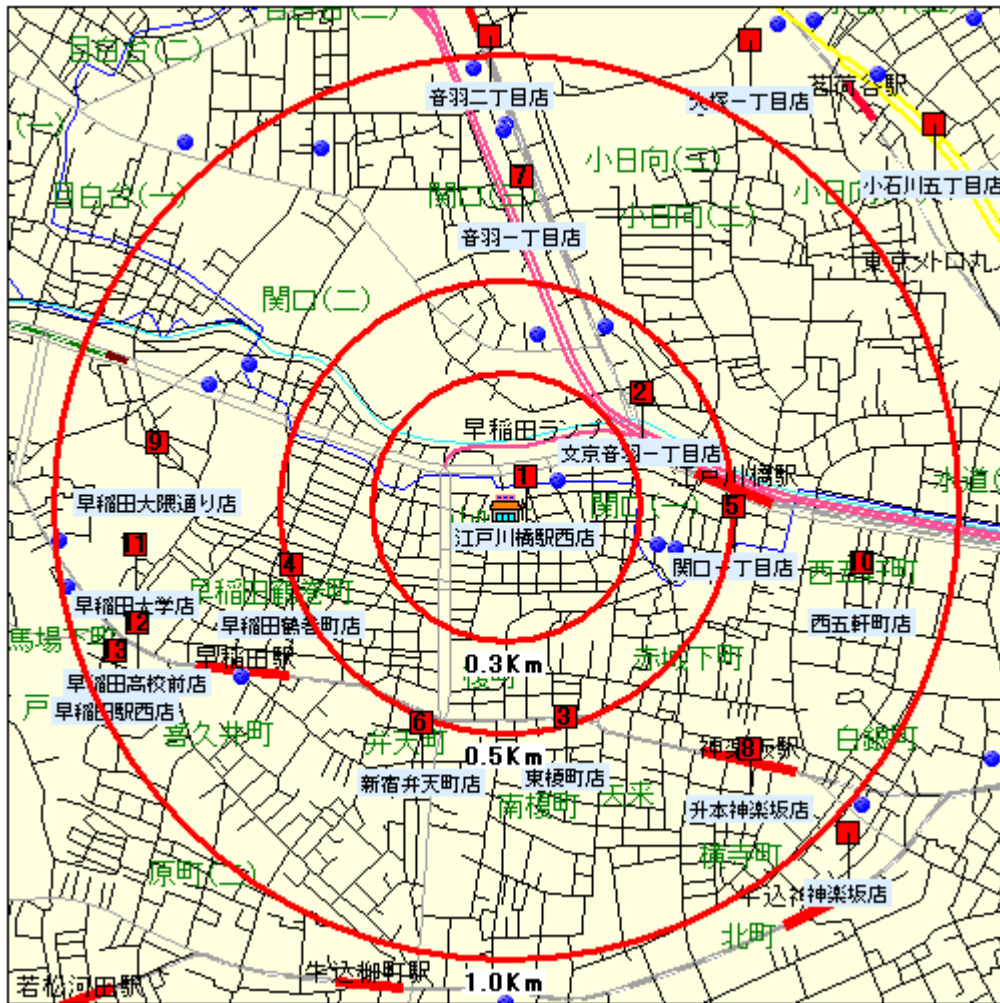
地図上に表示するプロットグループを指定できます。

グループごとに、

- ・ 名称表示 On/Off
- ・ ナンバリング On/Off

が指定できるほか、商圏内のプロットの一覧表を出力することができます。

また、レポート一括作成でプロットを指定してレポートを作成した場合は、調査地点となるプロットの属性値(例えば店舗名や住所)をレポートに出力できます。



No	チェーン名	店名	住所	直線距離(m)
1	店舗	江戸川橋駅西店	東京都文京区関口1-44-10	81
2	店舗	文京音羽一丁目店	東京都文京区音羽1丁目1-1	391
3	店舗	東横町店	東京都新宿区東横町5	481
4	店舗	早稲田鶴巻町店	東京都新宿区早稲田鶴巻町519	490
5	店舗	関口一丁目店	東京都文京区関口1-19-6	502
6	店舗	新宿弁天町店	東京都新宿区弁天町21	511
7	店舗	音羽一丁目店	東京都文京区音羽1-20-11	729
8	店舗	升本神楽坂店	東京都新宿区矢来町113	755
9	店舗	早稲田大隈通り店	東京都新宿区西早稲田1-8-22	784
10	店舗	西五軒町店	東京都新宿区西五軒町9-2	790
11	店舗	早稲田大学店	東京都新宿区西早稲田1-6-1	824
12	店舗	早稲田高校前店	東京都新宿区馬場下町62-13	852
13	店舗	早稲田駅西店	東京都新宿区馬場下町9	919

【オリジナルレポートでのプロット主題図例】

### 1.2.3. 地図

シート上に複数の地図画像を貼りつけることができます。表示する地図の範囲は

- 一次商圈
- 最も大きい商圈
- 地図高さでの指定

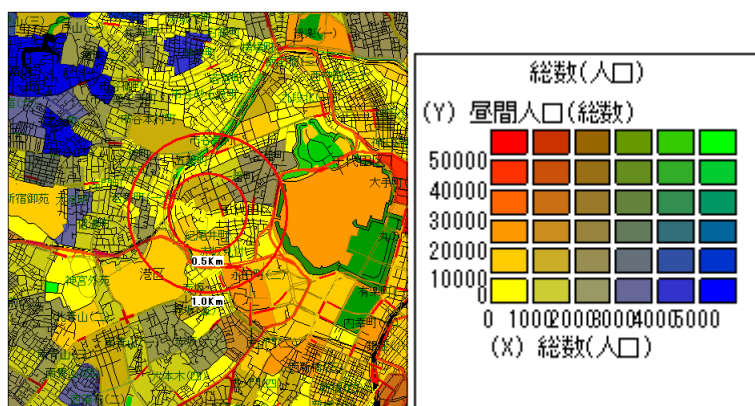
から選択することができます。



地図上には、

- ・ グラフ(界面グラフ、クロス集計)
- ・ グラフ凡例
- ・ プロットグループ

を重ね合わせて表示することができます。



### 【クロス集計の重ね合わせと凡例】



## 2. オリジナルレポートを出力してみる

### 2.1. 準備

サンプルのレポートとして消費支出データを使ったレポートを用意していますので、まずはこちらを使って、オリジナルレポート作成操作をお試し下さい(家計調査(食料).def、家計調査(食料).xls)。

*MarketFinder* ユーザの方は、ダウンロードページから「オリジナルレポートサンプル.zip」を取得し、解凍すると上記2ファイルが取り出せます。

すべてのユーザー様にご利用いただくため、Excel のフォーマットは Excel2003-2007(拡張子.xls)とさせていただきます。

定義ファイルとテンプレートファイルを同一のフォルダに格納しておきます。

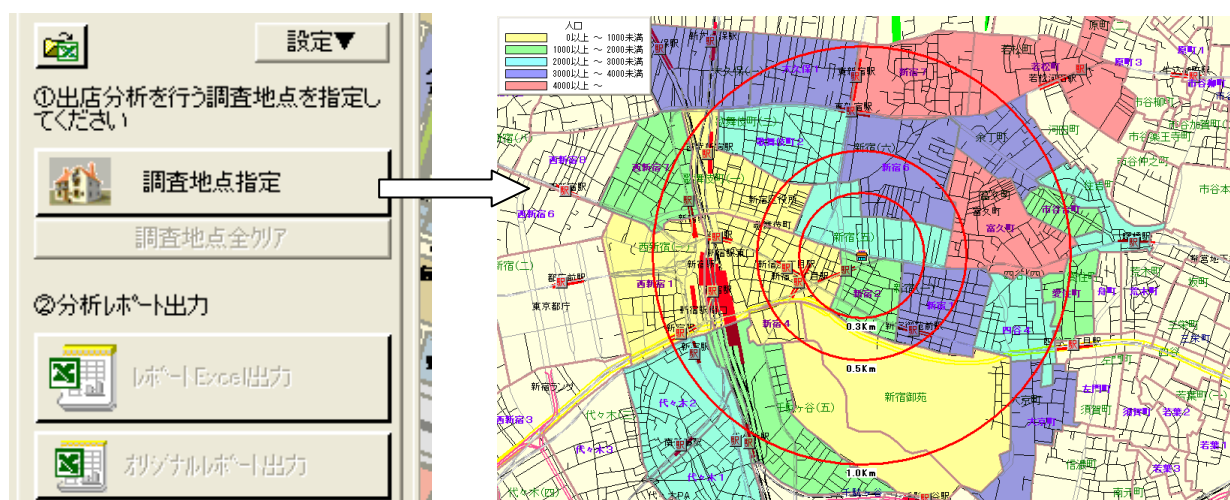
ここでは例として、c:\¥EarthFinder¥レポート定義に上記のサンプルファイルを格納したとして説明を続けます。

### 2.2. オリジナルレポート出力

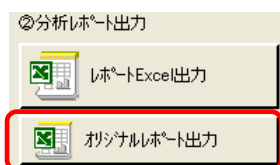
#### ① 調査地点の指定

オリジナルレポートの出力は、現状の標準レポートの代わりに(あるいは加えて)、オリジナルに定義したレポートを作成するという位置づけになっていますので、操作はマーケットパネル上から行います。

標準レポートと同様に、マーケットパネルの「調査地点指定」を押下して、地図上で調査地点をクリックして下さい。商圈にかかる町丁目の界面グラフが作成されます。



この時点で、「オリジナルレポート出力」ボタンが有効になりますので、これを押下します。

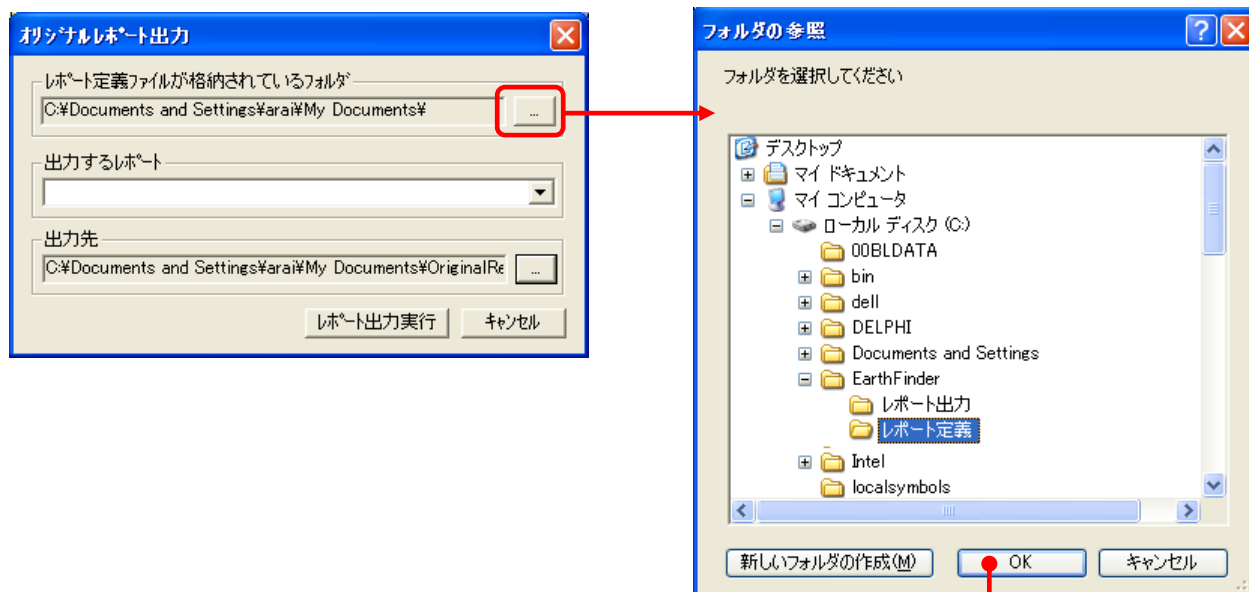


#### ② 出力するレポートの選択

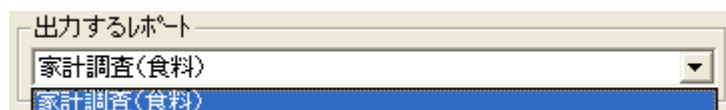
「オリジナルレポート出力画面」が開きますので、「レポート定義ファイルが格納されているフォルダ」を指定します。

「...」ボタンを押下し、先の例では「c:\¥EarthFinder¥レポート定義」フォルダを選択します。





「出力するレポート」にフォルダに格納しているレポート定義が表示されます。



「出力先」を指定して、「レポート出力実行」を押下するとオリジナルレポート作成処理が開始されます。

### ③ 注意点

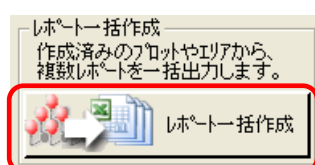
以下にご注意ください。

- ・ 商圈の設定(円や到達圏の範囲、個数)については、標準のマーケットレポートと同じものが使われます。
- ・ オリジナルレポート中に表示されるプロットについては、定義ファイルの `Map_PlotGroup` パラメータで指定したものについては、レポート作成処理中に表示が ON にされますが、それ以外のプロットについては制御は行われません。レポートに出力したくないプロットについては、あらかじめプロットパネルで表示を OFF にしておいて下さい。(逆にいうと、`Map_PlotGroup` パラメータで指定した以外のプロットを表示させたい場合は、あらかじめプロットパネルで表示を ON にしておいて下さい。)
- ・ 標準のマーケットレポートでは 500m メッシュ統計データを使って商圈内の集計を行っています。オリジナルレポートで町丁目単位の統計指標を指定した場合は、同じ商圈範囲であっても、標準レポートとオリジナルレポートでは集計値が異なりますのでご承知置き下さい。

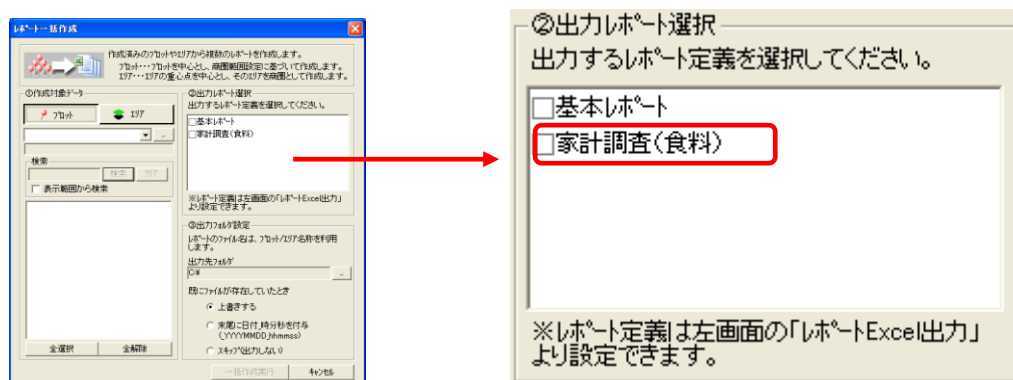
## 2.3. レポート一括作成

Version3.8 で追加された「レポート一括作成」でも、オリジナルレポートを出力することができます。

マーケットレポートパネル下部にある「レポート一括作成」ボタンをクリックします。



「レポート一括作成」画面が表示され、「②出力レポート選択」に 3.2 で指定したフォルダ内のオリジナルレポート定義がありますので、チェックを付けて「一括作成実行」の対象とします。



(オリジナルレポートが格納されているフォルダの指定は、この画面からは行えません。オリジナルレポートの「オリジナルレポート出力」画面で行って下さい。)

#### 注意点

オリジナルレポート出力を連続して実行する機能なので、注意点としてはオリジナルレポート出力と同じです。以下、繰り返しになりますので、要点のみ再掲します。

- ・ 商圏設定は標準のマーケレポートと同じものが使われる。
- ・ プロットについては、定義ファイルの Map\_PlotGroup パラメータで指定したもののみ ON/OFF 制御をしている。
- ・ 町丁目単位の統計指標を指定して集計した場合、標準レポートの集計値と異なる。

### 3. フォーマット仕様

以下でオリジナルレポート定義ファイルの仕様を説明します。サンプルの定義ファイルを参照しながらお読みください。

#### 3.1. 記述フォーマットおよびファイル名について

レポート定義ファイルは、Windows の ini ファイルの書式で記述します。

基本的なフォーマットは次の通りです。

##### パラメータ

INIファイルに含まれる重要な要素が「パラメータ」である。個々のパラメータは「名前」と「値」を持ち、等号(=)で区切られる。等号の左が名前、右が値である。  
name=value

##### セクション

パラメータは任意の名前を持つ「セクション」でグループ分けすることができる。セクション名は角カッコ([~])で囲み1行を占める。

[section]

(ウィキペディアより)

EarthFinder のオリジナルレポート定義ファイルは、例えば、以下のように始まります。

```
[ReportDef]
ReportName = サンプルレポート
TemplateFile = SampleReport.xls
SheetCount = 1
```

これはセクション[ReportDef]で、3つのパラメータの値を定義していることを示しています。

なお、レポート定義ファイル名の拡張子は.defとして下さい。

簡易レポート.def  
詳細分析.def  
など。

#### 3.2. セクション構成

レポート定義ファイルは以下のセクションからなります。

- ・ **【Reportdef】**セクション  
レポート名称やテンプレートファイル名、シート数など、レポートの全体情報を定義します。
- ・ **【Stats】**セクション  
集計やグラフ表示に使用する統計指標の情報を定義します。
- ・ **【GraphDispAttr】**セクション  
地図上に表示する界面グラフの塗り色などの表示属性を定義します。
- ・ **【PlotGroup】**セクション  
地図上に表示したり、属性一覧を作成するプロットグループを定義します。

- ・ **【Sheet】セクション**

Stats セクション、PlotGroup セクション、GraphDispAttr セクションで定義したレポート構成要素を用いて、Excel シートに出力する情報を記述します。

Sheet セクションは出力するシート数分定義します。

出力するシートが3つある場合は、

[Sheet1]

[Sheet2]

[Sheet3]

となり、それぞれのセクションでそのシートに載せるデータを定義します。

### 3.3. **【Reportdef セクション】**

このセクションには、次のパラメータがあります。

ReportName

TemplateFile

SheetCount

- ・ ReportName パラメータ

EarthFinder のオリジナルレポート出力画面のレポート一覧リスト上で表示する名前を指定します。このパラメータがない場合は、レポート定義ファイル名の拡張子.defを除いた部分が用いられます。



- ・ TemplateFile パラメータ

この定義ファイルと組になる Excel テンプレートファイル名を指定します。

- ・ SheetCount パラメータ

テンプレートファイル中のシート数を指定します。

例)

[ReportDef]

ReportName =            サンプルレポート

TemplateFile = SampleReport.xls

SheetCount = 3

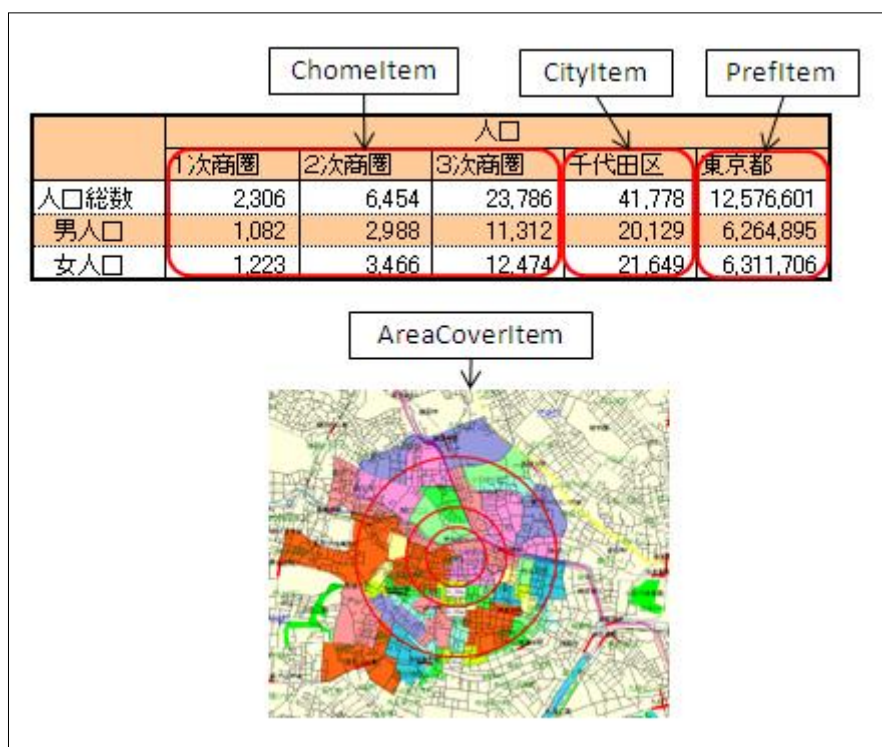
⇒レポート名称は「サンプルレポート」で、対応する Excel テンプレートは「SampleReport.xls」。このレポートは3つのシートから構成されることを定義しています。

### 3.4. 【Stats】セクション

集計や地図上に表示するグラフで使用する統計指標を定義するセクションです。

次のパラメータがあります。

- ChomeItem 商圈集計用指標
- CityItem 調査地点の市区町村統計指標
- PrefItem 調査地点の都道府県統計指標
- AreaCoverItem 商圈にかかると町丁目集計用指標



それぞれに対して、集計する指標を定義しますが、記述の仕方はすべて共通となりますので、ChomeItem(商圈集計用指標)を例に、上に示している集計表(人口総数と男女人口の集計)で、以下説明します。

集計の定義は、「指標数」パラメータ、「指標定義」パラメータで構成されます。

- 指標数パラメータ

指標数の定義パラメータの実際の名前は、ChomeItem、CityItem、PrefItem、AreaCoverItem に"Count"を付けた名称になります

ChomeItemCount

CityItemCount

PrefItemCount

AreaCoverItemCount

ChomeItem に3個の統計指標を定義する場合は、

ChomeItemCount = 3

となります。

- 統計指標パラメータ

ChomeItem\_、CityItem\_、PrefItem\_、AreaCoverItem\_に 1 からの連番を付与した名称となります。

人口総数と男女人口の3指標を定義している例をあげます。

ChomeItem\_1 = 統計データ¥01\_国勢調査統計(2005 年)¥01\_町丁目¥[3]丁目・字(大字)¥[01]人口・世帯数¥男女別人口世帯数,総数(人口),0,0,0,0

ChomeItem\_2 = 統計データ¥01\_国勢調査統計(2005 年)¥01\_町丁目¥[3]丁目・字(大字)¥[01]人口・世帯数¥男女別人口世帯数,男(人口),1,0,0,0

ChomeItem\_3 = 統計データ¥01\_国勢調査統計(2005 年)¥01\_町丁目¥[3]丁目・字(大字)¥[01]人口・世帯数¥男女別人口世帯数,女(人口),2,0,0,0

「=」の右側にカンマ区切りで統計指標の情報を記述しています。

ChomeItem\_x = 統計指標パス,カテゴリ内(「男女別人口世帯数」)の並び順,指標種類,小数点以下桁数,有効桁数以下の丸め方法

です。

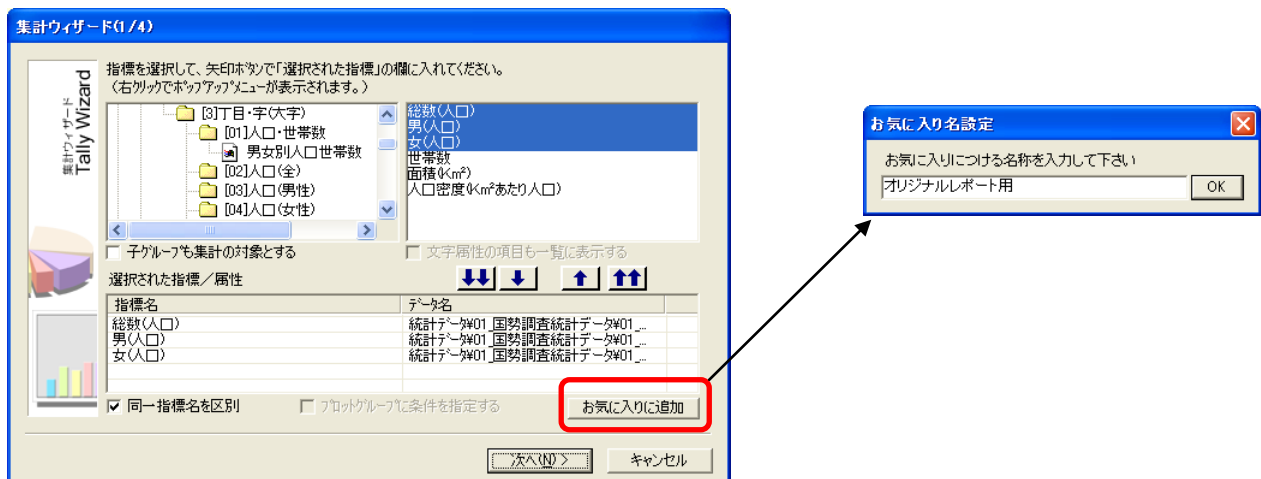
EarthFinder が内部で使用している記述方法なので難しそうに見えますが、手入力する必要はありません。

EarthFinder の集計ウィザードの指標選択画面で、レポートに載せたい指標を選択してこれを「お気に入り」に登録します。その後、お気に入りを保存しているファイルをエディタで開いてコピーして作成するのが簡便です。

### 【お気に入りの登録方法】

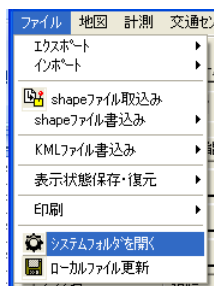
グラフパネルの「集計ウィザード」で指標を選択して、「お気に入りに追加」をクリックします。

名称設定ダイアログが開くので、名称を入力して「OK」をクリックします。

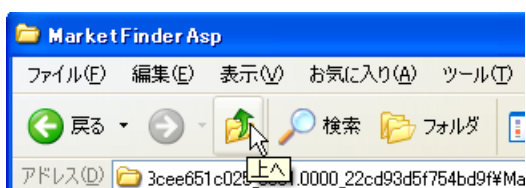


## 【お気に入りファイルの開き方】

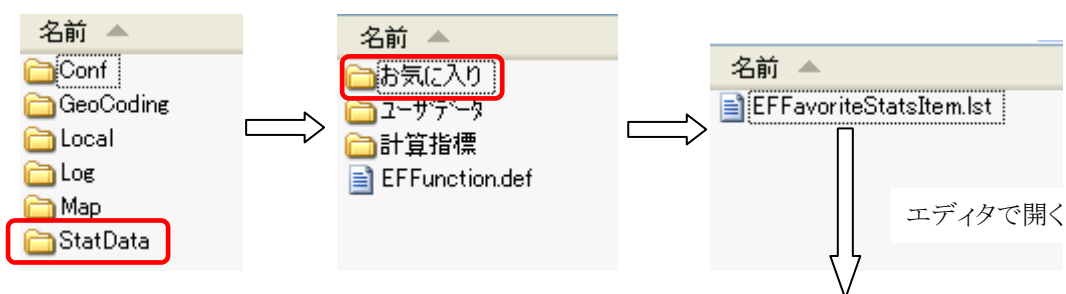
- ① 「ファイル」メニューの「システムフォルダを開く」を選択する。



- ② システム設定ファイルが格納されているフォルダがエクスプローラで開きます。  
③ ひとつ上のフォルダに移動します。



- ④ 「StatData」フォルダの下の「お気に入り」フォルダに保存ファイル(EFFavoriteStatsItem.lst)がありますので、Notepad 等のテキストエディタで開いて下さい。



```

オリジナルレポート用,3
統計データ¥01_国勢調査統計データ¥01_町丁目¥[3]丁目・字(大字)¥[01]人口・世帯数¥男女別人口世帯数,総
数(人口),0,0,0,0
統計データ¥01_国勢調査統計データ¥01_町丁目¥[3]丁目・字(大字)¥[01]人口・世帯数¥男女別人口世帯数,男
(人口),1,0,0,0
統計データ¥01_国勢調査統計データ¥01_町丁目¥[3]丁目・字(大字)¥[01]人口・世帯数¥男女別人口世帯数,女
(人口),2,0,0,0
    
```

(以上のフォルダ例は ASP サービス(MarketFinder) の場合です。カスタマイズ版等をご利用で上記と異なる方は、営業にお問い合わせください。)

統計指標のほか、プロット集計や計算指標も混在させて指定することができます。フォーマットは統計指標と同様に EarthFinder 内部形式となりますので、集計ウィザードの指標選択画面でお気に入りを作成し、お気に入り保存ファイルを開いて、定義ファイルの方へ転記して下さい。



### 3.5. 【GraphDispAttr】セクション

地図上に表示する界面グラフの表示属性等を定義するセクションです。

このセクションには、次のパラメータがあります。

AttrCount  
RankType  
RankCount  
RankValue  
RankColorType  
RankColor

- AttrCount パラメータ

このセクションで定義するグラフ表示属性の数(何個のグラフ表示属性を定義しているか)を記述します。

AttrCount = 3

以降のパラメータは、何番目のグラフ表示属性に関するものなのかを示すために、実際には1から始まる番号が付いた形になります。

RankType\_1 ← 1番目の表示属性定義についての RankType

- RankType パラメータ

ランクの算出方法を定義します。

0:指標値均等  
1:件数均等  
2:ランク値指定  
3:丸めレンジ

です。

- RankCount パラメータ

ランク数を定義します。

- RankValue パラメータ

RankType で 2(ランク値指定)を指定した場合のみ、各ランクの敷居値をこのパラメータで指定します。

RankValue\_1\_1 = 0  
RankValue\_1\_2 = 1000

- RankColorType パラメータ

ランク色設定方法を定義します。

0:規定の配色  
1:グラデーション

2:個別指定

3:クロス集計四隅の指定

です。

- RankColor パラメータ

各ランクの塗り色を定義します。

RankColorType で、

0(規定の配色)を指定した場合は、RankColor の定義は不要です。

1(グラデーション)を指定した場合は、最小値の色と最大値の色を定義します。

2(個別指定)を指定した場合は、各ランクの色を定義します。

RankColor\_1\_1 = (0,255,0)

RankColor\_1\_2 = (255,0,0)

RGB 値を0内にカンマ区切りで指定して下さい。

クロス集計の場合は、以下の制約があります。

✧ RankType(ランク算出方法)で「2:ランク値指定」は使えない

✧ RankColorType(ランク色設定方法)は 3 のみ設定可能。

ランク色は、左下隅、右下隅、右上隅、左上隅の4色を指定する形となります。

・ランク色 (1:左下隅、2:右下隅、3:右上隅、4:左上隅)

RankColor\_1\_1 = (255,255,0)

RankColor\_1\_2 = (0,0,255)

RankColor\_1\_3 = (0,255,0)

RankColor\_1\_4 = (255,0,0)

### 3.6. 【PlotGroup】セクション

地図上に表示したり、属性一覧表を作成するプロットグループを定義するセクションです。

このセクションではプロットグループを指定するだけです。

- PlotGroupCount パラメータ

定義するプロットグループ数を設定します。

- PlotGroup パラメータ

プロットグループ名称を設定します。

グループ名は、ルートグループからのパスで指定します。次ページの例をご参照ください。

PlotGroupCount = 2

PlotGroup\_1 = ¥ローカル プロットグループ¥2012 年度¥自店舗

PlotGroup\_2 = ¥ローカル プロットグループ¥2012 年度¥競合店



### 3.7. 【Sheet】セクション

以上で定義した統計指標やプロットグループなどの定義を用いて、各シートに配置する情報を定義します。

実際のセクション名は、ReportDef で定義したシート数に応じて、

[Sheet1]

[Sheet2]

など、"Sheet"の後ろに 1 から始まる番号が付いたものになります。

このセクションには、次のパラメータがあります。

※シート名

Name

※調査地点関連

AreaInfoPos

PointCellPos

CityCellPos

PrefCellPos

PointAttr

※集計値転記位置指定

CellCount

Cell

※地図関連

MapCount

Map\_Cell

Map\_Height

Map\_Width

Map\_Range

Map\_StatItem

Map\_GraphDispAttr

Map\_GraphLegendCell

Map\_PlotGroupCount

Map\_PlotGroup

Map\_PlotGroupLegendCell

※集計表関連

StatListCount

StatList\_Cell

StatList\_Line

StatList\_MaxCount

StatList\_Items

※プロット関連

PlotListCount

PlotList\_Cell

PlotList\_Line

PlotList\_MaxCount

PlotList\_Group

PlotList\_Attr

### 3.7.1. Name パラメータ

Excel テンプレートファイル中の対応するシート名を記述します。



このシートセクションで定義した内容を Excel テンプレート中の「商圈集計」シートに反映する場合。

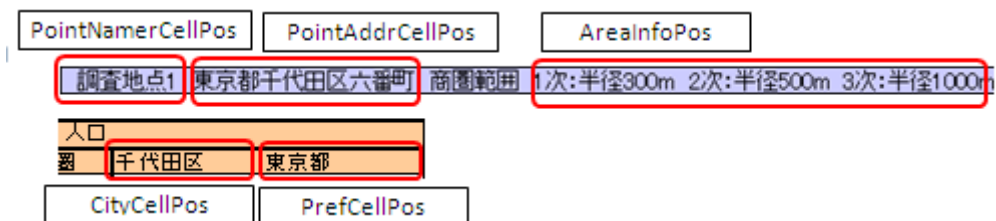
Name = 商圈集計

### 3.7.2. 調査地点に関するパラメータ

以下のパラメータがあります。

- ・ PointNameCellPos パラメータ
- ・ PointAddrCellPos パラメータ
- ・ CityCellPos パラメータ
- ・ PrefCellPos パラメータ
- ・ AreaInfoPos パラメータ

それぞれ「調査地点名」「調査地点住所名」「市区町村名」「都道府県名」「商圈情報」を転記するセル位置を定義します。



例)

CityCellPos = K5 ← 調査地点のある市区町村名を K5 セルに書き込む

- PointAttr パラメータ

レポート一括作成からプロットやエリアを指定してレポートを出力した場合は、そのプロットやエリアの属性項目値をセルに出力することができます。

店舗名	六番町店
住所	東京都千代田区六番町2

PlotAttrCount 出力する属性項目数を指定します。

PlotAttr\_連番 出力するセル位置、属性項目名を指定します。

例)

PointAttrCount = 2

PointAttr\_1 = C1,店舗名称

PointAttr\_2 = C2,店舗住所

### 3.7.3. Cell パラメータ 集計値の転記位置指定

[Stats]セクションで定義した統計指標集計値を転記する Excel セル位置を定義します。

まず、CellCount パラメータで個数を指定した後に、連番で転記セル情報を指定します。

CellCount 集計値を転記する Excel セル数を指定します。

Cell\_連番 出力するセル位置、集計レベル、指標番号を指定します。

連番:1 から始まる連番です。1~CellCount に設定した数までとなります

セル位置:集計値を転記するセルを指定します(C7,D7 など)

集計レベル

L1…1 次商圈集計値

L2…2 次商圈集計値

L3…3 次商圈集計値

C…市区町村集計値

P…都道府県集計値

のいずれかを指定します。

指標番号は、L1~L3 の場合は[Stat]セクションの ChomeItem\_、C の場合は CityItem\_、P の場合は PrefItem\_で定義した番号から選択します。

[Stats]	
ChomeItemCount = 5	
ChomeItem_1 = 統計データ#12_推計年取階級	
ChomeItem_2 = 統計データ#12_推計年取階級	
ChomeItem_3 = 統計データ#12_推計年取階級	
ChomeItem_4 = 統計データ#12_推計年取階級	
ChomeItem_5 = 統計データ#12_推計年取階級	
[Sheet1]	
・書き込むデータ (セル位置、集計レベル、指標番号は、L1…1次商圏集計値、L2…2次商圏集計値、L3…3次商圏集計値)	
CellCount = 5	
Cell_1 = F28,L1,1	
Cell_2 = F29,L1,2	
Cell_3 = F30,L1,3	
Cell_4 = F31,L1,4	
Cell_5 = F32,L1,5	

データ名		商圏内	
		値	割合(%)
年取別世帯数	300万円未満		#DIV/0!
	300万円～500万円未満		#DIV/0!
	500万円～700万円未満		#DIV/0!
	700万円～1000万円未満		#DIV/0!
	1000万円以上		#DIV/0!

#### 3.7.4. Map パラメータ 地図情報の定義

"Map"で始まるパラメータで、Excel テンプレートに貼りつける地図情報を定義します。

- MapCount パラメータ

このシートに貼りつける地図の数を定義します。

MapCount = 1

1つのシート状に複数の地図を定義することができますので、以下のパラメータを記述する際は、"Map"に続いて「番号」を付ける形になります。(MapCount が 1 の場合でも、"Map1\_"として下さい。

- Map\_Cell パラメータ

地図を貼りつけるセル位置 (左上のセル) を定義します。

Map1\_Cell = A2

- Map\_Height パラメータ

- Map\_Width パラメータ

貼りつける地図画像の大きさ (高さと幅) をピクセルで指定します。

Map1\_Height = 500

Map1\_Width = 500

- **Map\_Range** パラメータ

地図の表示範囲を指定します。

- 1 : 1次商圏が収まる範囲
- 0 : 最外商圏が収まる範囲
- >0 : マップ高さで指定(m 単位)

- **Map\_StatItem** パラメータ

地図上に表示するグラフ(統計指標)を定義します。[Stats]セクションの **AreaCoverItem** 定義での連番を指定します。

クロス集計結果を指定するときは、カンマで番号を2つ指定します。

Map1\_StatsItem = 1 ←単一指標の場合

Map1\_StatsItem = 1,2 ←クロス集計の場合

集計範囲は最外商圏にかかる町丁目(メッシュ)となります。グラフの集計範囲を地図表示範囲とする場合は、指標番号をマイナスの値で指定して下さい。

- **Map\_GraphDispAttr** パラメータ

グラフに適用する表示属性を定義します。[GraphDispAttr]セクションでの連番を指定します。

Map1\_GraphDispAttr = 3 ←3 番目の定義を使う

- **Map\_GraphLegendCell** パラメータ

凡例を貼りつけるセルを指定します。

Map1\_GraphLegendCell = G10

- **Map\_PlotGroupCount** パラメータ

地図上に表示するプロットグループ数を指定します。

- **Map\_PlotGroup** パラメータ

地図上に表示するプロットグループの情報を指定します。

Map1\_PlotGroup 連番 = プロットグループ番号,名称表示 On/Off,ナンバリング On/Off

プロットグループ番号 【PlotGroup】セクションでの番号を指定します。

名称表示 On/Off 1:でプロット名称ラベルを表示します(0:表示しない)

ナンバリング On/Off 1:調査地点からの直線距離に近い順にナンバリングを表示する (0:しない)

例)

Map1\_PlotGroupCount = 2

Map1\_PlotGroup1 = 1,1,1

Map1\_PlotGroup2 = 2,0,0



- Map\_PlotGroupLegend パラメータ

そのプロット凡例を貼りつけるセル位置を指定します。

Map1\_PlotLegendCell = B2

### 3.7.5. StatList パラメータ 統計データ集計表の定義

"StatList"で始まるパラメータで、Excel テンプレートに統計データの集計結果(集計値)を作成するときに使用します。

2	東京都千代田区一番町	2827	1233	1594
3	東京都千代田区霞が関1丁目	0	0	0
4	東京都千代田区霞が関2丁目	12	3	9
5	東京都千代田区霞が関3丁目	12	7	5
6	東京都千代田区神田神保町1丁目	1226	585	641
7	東京都千代田区神田神保町2丁目	808	387	422

ヘッダ(指標名)は出力されません。あらかじめ Excel テンプレート内に記載しておいて下さい。

- StatListCount パラメータ

作成する集計表の数を定義します。

StatListCount = 2

複数の集計表を定義することができますので、以下のパラメータを記述する際は、"StatList"に続いて「番号\_」を付ける形になります。(StatListCount が 1 の場合でも、"StatList1\_"として下さい。

- StatList\_Cell パラメータ

集計表を開始するセル位置を定義します。

StatList1\_Cell = A2

- StatList\_Line パラメータ

集計表を罫線で囲むか否かを指定します(1:囲む、0:囲まない)。

StatList1\_Line = 0

- StatList\_MaxCount パラメータ

集計表の最大行数を指定します。-1 を指定すると、上限なしとなります。

集計データがここで設定された上限行数よりも多い場合は、住所コードの小さい順に設定値に達するまでが出力されます。

StatList1\_MaxCount = 50

- StatList\_Items パラメータ

集計表に載せる統計指標を指定します。[Stats]セクションの AreaCoverItem 定義の番号を指定して下さい。

StatList1\_Items = 1,2,3

### 3.7.6. PlotList パラメータ プロット一覧表の定義

"PlotList"で始まるパラメータで、Excel テンプレートに商圈内のプロット一覧を作成するときに使用します。

No	グループ	店名	住所
1	店舗	一番町店	東京都千代田区一番町13-3
2	店舗	一番町大妻通り店	東京都千代田区一番町20-5
3	店舗	紀尾井町ビル店	東京都千代田区紀尾井町3-12紀尾井町ビル
4	店舗	紀尾井町店	東京都千代田区紀尾井町3-33
5	店舗	市谷本村町店	東京都新宿区市谷本村町3番29号FORECAST市ヶ谷1階
6	店舗	四ツ谷駅前店	東京都新宿区四谷1-2-31
7	店舗	市谷田町店	東京都新宿区市谷田町2-38-3
8	店舗	九段南二丁目店	東京都千代田区九段南2-4-16

ヘッダ(属性項目名)は出力されません。あらかじめ Excel テンプレート内に記載しておいて下さい。

- PlotListCount パラメータ

作成するプロット一覧表の数を定義します。

PlotListCount = 1

複数の一覧表を作成することができますので、以下のパラメータを記述する際は、"PlotList"に続いて「番号\_」を付ける形になります。(PlotListCount が 1 の場合でも、"PlotList1\_"として下さい。

- PlotList\_Cell パラメータ

一覧表を開始するセル位置を定義します。

PlotList1\_Cell = A2

- PlotList\_Line パラメータ

一覧表を罫線で囲むか否かを指定します(1:囲む、0:囲まない)。

PlotList1\_Line = 0

- PlotList\_MaxCount パラメータ

一覧表の最大行数を指定します。-1 を指定すると、上限なしとなります。

商圈内のプロット数がここで設定された上限行数よりも多い場合は、調査地点からの直線距離に近い順に設定値に達するまでが出力されます。

PlotList1\_MaxCount = 50

- PlotList\_Group パラメータ

一覧表に載せるプロットグループを指定します。[PlotGroup]セクションでのプロットグループ番号を指定して下さい。

PlotList1\_Group = 1,2

- PlotList\_Attr パラメータ

一覧表に載せるプロット属性を指定します。

属性項目名もしくは以下に示す予約語をカンマで区切って指定して下さい。

[No]	連番(直線距離の近い順)
[GroupName]	プロットグループ名
[DataName]	プロット名称
[Distance]	調査地点との直線距離

例)

PlotList1\_Attr = [No],[GroupName],[DataName],住所,[Distance]

以上